



# よこすか市議会だより

No. 17

平成27年(2015年) 5月20日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会事務局議事課]

横須賀市議会

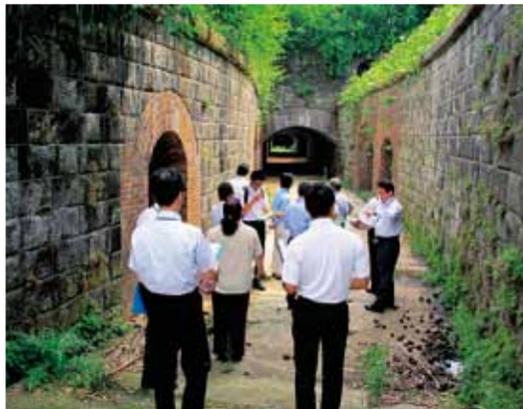
検索

pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会  
編集 横須賀市議会だより  
編集委員会



平成27年3月10日付で国の史跡に指定された千代ヶ崎砲台跡 (教育福祉常任委員会の所管施設等調査において撮影)



千代ヶ崎砲台跡にある煉瓦造りの隧道

## 新年度予算を

第1回定例会

## 審査・可決

平成27年第1回定例会は、2月17日から3月25日までの37日間で開催しました。この定例会では、平成27年度予算などの議案の審議のほか、公共施設の将来構想である施設配置適正化計画に関連した公立保育園再編実施計画なども報告され、それらの審査を行いました。

2月25日から3月2日までの本会議では、市長等に対して各会派の代表7名による代表質問と無党派議員の2名による個人質問を行い、事業予算や本市が抱えるさまざまな課題について議論が行われました。3月4日からは4つの予算決算常任委員会分科会で部局ごとに詳細な審査を行い、活発な質疑が交わされました。

そして、平成27年度一般会計予算を含め議案62件を可決し、監査委員等の人事議案4件に同意しました。また、「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等を求める意見書」を全会一致で可決しました。

### 「代表質問・個人質問」

西郷 宗 範 議員 新政会

#### 全ての世代が暮らしやすい施策推進のために

**問** 地方創生の具体策を予算にどのように盛り込んだのか。  
**答** 自然、スポーツ、歴史、外国人、先端産業の集積といった本市のポテンシャルを生かした政策を盛り込んでいく。

**問** 出生率上昇のための本市独自の政策展開の優先順位は何か。  
**答** 限られた財源の中で優先すべきは出産・子育て環境を充実させる政策である。

**問** 出勤から帰宅まで子どもを安心して預けておくための施策が重要ではないか。  
**答** 認可保育所の午後7時以降の開所について、人口増加地区などを中心に要請していく。

**問** 西地区から久里浜地区へのバス路線整備を検討してはどうか。  
**答** 久里浜へのバス路線整備は西地区の新たな魅力につながる。京浜急行バスとともに研究していきたい。

**問** 次年度に向けて空き家バンク制度をどのように進めるのか。  
**答** 谷戸モデル地区のエリアを拡大し、逸見地区に拡大し、実証実験を継続する。さらに住宅団地の空き家バンクを開設し、複合的な空き家活用を検討していく。

**問** 施設配置適正化計画に係る市民に対する説明や意見聴取はどのように行うのか。  
**答** 施設ごとに性格や利用形態を見きわめ、最も意見交換しやすい場を設け効果的に議論を深めていく。

**問** 認知症初期集中支援チーム設置に向けた取り組みの状況はどうか。  
**答** 本市では認知症専門医師と保健師が訪問等により個別の相談を行っている。今後は本市にとって効果的な支援チームの設置検討を進めていく。

岩沢 章 夫 議員 公明党

#### 観光立市推進条例を活かして地域活性化を!

**問** 地域経済の活性化に向けて、観光産業の振興を図るために観光立市推進条例をどう活かしていくのか。  
**答** 議員提案である観光立市推進条例の趣旨に基づき、旧軍施設を初めとする近代歴史遺産、鎌倉幕府の創設にかかわった三浦一族、スポーツ大会の誘致、アメリカを身近に感じられる環境などを活かす観光立市推進基本計画を策定し、観光産業を新たな基幹産業として育てていきたい。

**問** 高齢者が入居する施設の基準を緩和し、誰もが安価で安心して入居できる施設を確保する必要があるのではないか。  
**答** 市の定めている指針は国の指針に基づいてい

**問** 空き家の適正管理の指導や余剰となった家屋を空き家にしなかったための有効活用、中古住宅の流通促進など積極的な施策が必要とされている。住宅団地の流通促進、多世代同居の促進などの施策に力を注ぎたい。  
**問** 学校現場が抱える問題に対応するために、家庭現場まで対応できるスクールソーシャルワーカー

**問** 施設配置適正化計画に係る市民に対する説明や意見聴取はどのように行うのか。  
**答** 施設ごとに性格や利用形態を見きわめ、最も意見交換しやすい場を設け効果的に議論を深めていく。



建築基準法に基づいて市が初めて撤去した空き家

カーを増やすことが重要ではないか。  
**答** 子どもが直面する課題の原因は家庭環境だけではなく、友人関係や学習面、進路や将来への不安など多岐にわたる課題を解決するためにはスクールソーシャルワーカーだけでなく、子どもや保護者が相談できるスクールカウンセラーや相談員も大切だと考えている。

**問** 在宅療養中の高齢者が介護難民とならないための対策はどうか。  
**答** 在宅療養連携会議は全てのサービス提供者により構成されているが、サービスの受け手の意見を取り入れた検討ができるよう改善を図りたい。

**問** 横須賀子ども未来プランの教育・保育量の確保を短期的にどのように進めるのか。  
**答** 教育・保育の環境整備を進め、準備が整った施設から、前倒しして認可していきたい。

渡辺 光一 議員 自由民主党

地方創生における国との連携について

地方創生の総合戦略と国家戦略特区、どちらも今後さらに新たなことを検討し、実現に向けて推進していくため、重要なのは国との密接なパイプを通して、これまで以上に連携を強めていくことだと思いがいかか。

今後、地方創生の総合戦略に係る事業や国家戦略特区に関する提案事業の推進を図る上でも、

嘉山 淳平 議員 無所属クラブ

妊娠・出産・子育て関連予算の拡充と支援を

子育て支援施策へ思い切った予算をつける姿勢と子育て支援に対する市長の想いについて伺う。

子ども・子育て支援給付金を約5億900万円、中央子ども園整備事業で約3億1500万円、児童クラブ助成事業で約6000万円、小児医療費助成事業で約2000万円の増額をしている。

「子どもが主役になるまち」に恥じない予算措置を図っていく。施設配置適正化計画を実施に移す際の市民参加を制度で保証する必要性について伺う。

しっかりと意見交換できる場を設け、効果的に議論を深めるような工夫をしていきたい。

若い世代が安心して妊娠、出産、子育てができる環境を実現するための相談体制や産後の支援

費や国、県の財源を活用することだが、それでは到底足りず、十分ではない。保護者や指導員の負担軽減のため、市長の大胆な予算措置が必要と思いがどうか。

平成26年度の当初予算と比較して約6000万円の増額となっている。しかし、こうした数字や事業の拡充に満足することなく保護者、指導員の負担軽減に向けて取り組みを進めていきたい。

長谷川 昇 議員 研政

市民の声を「つなぐ」施策の実現に向けて

「選ばれるまち横須賀」となるために効果的な予算の使い方をどう考えるか。

まずは市民満足度を高めること、加えて、魅力を外へ発信することが必要と考える。

横浜横須賀道路は値下げだけでなく、土日祝日の割引も継続すべきではないか。

まずは道路料金の値下げを要望し、割引継続は今後の課題とする。



建替えが検討されている市立うわまち病院

に関する調査研究費について、仮にティボディエ邸再建を否定する結論を得た場合、議会意思と大きく乖離する。議会決議は、後世に伝える有形の遺産を残すべきとの考えだが、市長のご所見は。

仮にどのような内容であっても市議会の皆さんに情報を提示し、ティボディエ邸のあり方については市議会の皆さんの考えも承りながら検証していきたいと思つ。

一柳 洋 議員 ニューイング横須賀地域主権会議

地方消滅論と本市に必要な総合戦略について

片山元総務相の「地方創生」に対する「詐欺に遭う人は何度でも騙される。自治体は気をつけよ」との注意喚起について。新たな自治体再編も容認するのか。

片山氏の発言は知らなかった。少子化などの問題は国策であるとの指摘はごもっともと思つが、地方も頑張ることが必要だ。

総合戦略として取り組むべきは「業」である谷戸高台対策だ。

モデル地区などこれまでの施策を拡充する。

谷戸高台対策は税、自の取り組みとして、過去一年間の住民票の発行履歴の簡易開示も行う。

栄養職員・栄養教諭の全校配置に向けた検討状況は。

市費負担非常勤職員勤務を週4日から5

井坂 新哉 議員 日本共産党

人口減少と労働状況改善・子育て支援の充実

本市の子どもの出生数が大幅に減少している状況と出生率についてどう捉えているか。

出生数の減少、出生率が国や県と比較して低い状況にあることは認識している。

20代、30代の約半数が非正規雇用、正規社員は超過密労働とブラック企業が存在などで働く環境が悪くなっている。人口減少問題に取り組みむらば若い世代の労働状況の改善が必要だがどう考えるか。

藤野 英明 議員 無会派

性的マイノリティ・同性パートナーへの施策

性的マイノリティの支援と啓発に関するこれまでの様々な取り組みを、新年度はさらに充実すべきだ。

職員向け研修・市民向け講演会の実施に加え、パネル展示の開催場所を増やし、新たにリーフレット作成等、さらに取り組みの充実を努めていく。

同性パートナーシップ

同性パートナーシッ

同性パートナーシッ

同性パートナーシッ

同性パートナーシッ



の負担を軽くしていきたい。市には民間保育士の労働状況を改善する役割があるがどう考えるか。保育士不足に対応するため、人材育成や職場の環境改善について取り組んでいく。市立保育園の民営化はやるべきではないか。施設統合や民営化により運営費を効率化する。原子力空母の交代、イージス艦追加配備での基地機能の強化を認めるか。艦船増隻と人員増加については、機能の強化に当たる。

山城 保男 議員 無会派

公立保育園再編実施計画について

再編計画では保育園の統廃合・民営化等が盛り込まれ、市長が掲げる「子どもが主役になれるまち」が実現できるか疑問だ。施設配置適正化計画には、一分野別実施計画の策定には施設利用者や地域住民等への説明を行い、意見・提案等を聴取する」とあるが地域に

は何も説明していない。しっかりと説明すべきだ。また、統廃合後の跡地売却の方向性はどうか。丁寧な説明や意見聴取の機会を作っていくべきだ。跡地売却は、庁内と地域からの声を見極めて判断をしていきたいと考えている。

# 予算決算常任委員会

## 平成27年度予算を可決！

予算決算常任委員会は、予算決算議案とそれに関連する議案を審査する委員会で、議長を除く全議員で構成し、議場で開会します。詳細な審査は、委員が部局別の各分科会に分かれて行います。

今定例会では、平成27年度予算議案を中心に審査を行い、分科会では、「選ばれるまち横須賀」に向けた重点施策、総合計画に基づく主な事業に関連する予算案を中心に活発な質疑が交わされました。3月23日の委員会では、各分科

## 生活環境常任委員会(分科会)

### 街路防犯灯全灯LED化へ

平成26年度の補正予算の審査では、老朽化した防災収納庫の更新や臨時福祉給付金の申請締め切り後の対応など質疑を行いました。また、ごみ処理施設建設工事請負契約の締結については、近年の南処理工場の大規模修繕について質疑があり、議案を可決しました。

また、平成27年度一般会計予算及び水道・下水道事業会計予算の審査では、市民安全部、市民部、資源循環部、消防局、上下水道局ごとに説明を受け、



LED化された街路防犯灯

会委員長の報告を聴取した後、市長等に対して政策的な判断を求めたための「締めくくりの総括質疑」を行いました。その主な内容は、平成27年度一般会計予算などに対して、ふるさと納税の推進による都市間競争での競争、議会の決議を踏まえたティボディエ邸(横須賀製鉄所の副社長であったフランス人技師ティボディエの当時の官舎)再建の方向性、施設配置適正化計画に示された分野別実施計画策定の具体的な進め方、経済的な理由

制度の実施内容、高齢者に対する消費者問題への取り組み、ごみ処理施設建設に伴う三浦市の負担割合、特殊災害対応資機材の配備状況と特殊災害への対応手順、上下水道局における大口水道利用者への営業の必要性など多くの質疑を行いました。特に、街路防犯灯の全灯一斉LED化については、防犯灯の所有権を市に移転する手続きの進め方、町内会等への適切な情報提供の必要性などについて活発な質疑が行われました。これまでに町内会等が設置、管理していた街路防犯灯を市が一括管理し、LED化することで、町内会等の負担を軽減できさらに省エネルギー化が図られます。27年度中に全灯LED化を完了し、28年度から市での管理を実施する予定です。

(委員長 西郷宗範)

# 総務常任委員会(分科会)

## 横須賀製鉄所150周年の取り組みについて

で学童クラブを利用できない児童への対策の必要性、指定管理者制度を導入している施設の指定管理者が加入している損害賠償責任保険の内容精査の必要性、職員の法律への対応能力向上のための対策、時代とともに変化する法律に対応するために弁護士を市役所内に配置する必要性についてでした。総括質疑終了後の採決では、議案15件を全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

(委員長 伊東雅之)

## 予算審査のあらまし

## 教育福祉常任委員会(分科会)

### 第6期介護保険事業計画に基づき条例改正

平成27年度予算案の審査では、生涯現役プロジェクト、つわまち病院建替え検討、ひとり暮らし高齢者支援事業、障害者雇用の促進、公立保育園再編実施計画、放課後児童健全育成事業(学童クラブ助成事業)、教育扶助費の支給基準、学力向上に向けた取り組みなどに対して多くの質疑が交わされました。

特に議論が集中した議案は、第6期介護保険事業計画に基づき介護保険料の改定などを行う介護保険条例の改正で、国の基準に合わせ、所得に応じたきめ細かな保険料額とするため、より細分化した等級を設定することで、一部階層の方々だけに限り大幅な介護保険料の値上げが生じること、保険料決定までのプロセスのあり方、被保険者に対する丁寧な説明の必要性についてなど、多くの質疑が交わさ

れました。

また、市立病院での医療事故に係る和解の専決処分については、医療事故再発防止に向けた検討の状況や、本市の利用者責任を認め、和解であるとの指摘に対する見解、判決で使用者責任の有無を明確にしなかった理由についてなどの質疑が交わされ、専決処分を承認しました。

また、ウィルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出を趣旨とした陳情の審査では、国に対して医療費助成制度の創設と障害者手帳の認定基準緩和を求める意見書を委員会発議で提出することを決定しました。

(委員長 渡辺光一)



が交わされました。

日本の近代化と本市発展に重要な役割を果たした横須賀製鉄所創設から150周年を迎えた意義を市内外に周知する方法や次代を担う子どもたちへの教育現場での取り組み方、地域や商店街等で行われるイベントのあり方などについて質疑が交わされました。

また、「ふるさと納税」に関しては、事業予算と税収額とのバランス、記念品の種類や選定方法などについて質疑が交わされました。

(委員長 山本文夫)



横須賀製鉄所1号ドック(日本最古の石造ドライドック)

## 都市整備常任委員会(分科会)

### 子育て世代の定住促進及び空き家対策等を審査

分科会での平成26年度補正予算における主な質疑は、2世帯住宅リフォーム助成の申請資格要件、住宅団地空き家対策事業における子育て世代転入助成を行う対象団地、長井海の手公園に新規設置する大型複合遊具の具体的仕様、くりはま花の国エアライフル場設備を改修することになった経緯などです。平成27年度予算における主な質疑は、長井海の手公園の運営形態変更による従業員の処遇状況、久里浜駅周辺地区における市街地再開発事業の進め方、谷戸地域住環境対策事業における高齢者の平地転居助成の具体的内容及び申請件数、主要49路線以外の市道における空洞化調査実施の必要性、西地区漁港海岸整備計画の実施期間、港湾施設漂着ごみの収集実施頻度

など多岐にわたりました。特別会計の公園墓地事業費については、合葬墓建設の進捗状況、合葬墓料金等における市民ニーズ反映の必要性などについて質疑が交わされました。



大型遊具の設置が予定されている長井海の手公園

また、常任委員会では、西地区漁港海岸整備計画策定検討委員会の検討事項と検討業務委託の関連性について質疑が交わされたほか、開発許可等の基準及び手続に関する条例改正については、1戸あたりの敷地面積が小さい開発行為を可能とすることによるメリット及びデメリットなどについて質疑を行いました。

(委員長 石山 満)

平成27年第1回定例会

審議結果

○は賛成、×は反対

Table with columns for 議案番号, 賛否が分かれた議案, and 会派 (New Party, Public Party, Liberal Party, etc.) with voting results (○ for赞成, × for反対).

\* その他議案42件については、全会一致で可決しました。詳細は市議会ホームページにも掲載してありますので、ご覧ください。
\* 議長は、議事を取り仕切る立場から、採決に加わりません。

【会派所属議員名】

- 新 政 会 青木哲正 伊藤順一 伊東雅之
岩崎絵美 加藤真道 西郷宗範
杉田 惺 松岡和行 山口道夫
山下 薫
公 明 党 板橋 衛 (議長)
室島真貴子 岩沢章夫 鈴木真智子
土田弘之宣 石山 満 関沢敏行
自由民主党 木下憲司 田辺昭人 高橋敏明
青木秀介 大野忠之 渡辺光一
無所属クラブ 神保 浩 矢島真知子
はまのまさひろ 嘉山淳平
永井真人
研 政 芳賀親男 角井 基 伊関功滋
長谷川昇 山本文夫
日本共産党 井坂新哉 大村洋子 ねぎしかずこ
ニューウイング横須賀 一柳 洋 上地克明
地域主権会議

意見書

Table with columns 件名, 結果. Item: ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等を求める意見書. Result: 可決 (全会一致)

請願・陳情

Table with columns 件名, 結果. Items: パークゴルフ場利用料金及び駐車場料金の引き下げについて (不採択), ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出について (趣旨了承), 横須賀ごみ処理施設建設事業の凍結等について (審査終了)

\* 審査終了とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

第2回定例会のお知らせ

\* 時間の記載がないものは10:00開会です

Table with columns 開催日, 会議名. Dates: 6月9日(火), 6月10日(水), 6月12日(金).

Table with columns 開催日, 会議名. Dates: 6月15日(月), 6月16日(火), 6月17日(水), 6月19日(金).

Table with columns 開催日, 会議名. Dates: 6月22日(月), 6月24日(水), 6月25日(木), 6月26日(金).

議員が自ら原稿を書き、編集委員会で作成する形式に変わってからは3年目に入り、代表質問や予算審査の内容を掲載する議会だよりは2回目となりました。当初、心配されていた原稿の提出期限も守られ、編集スタイルもある程度確立されてきています。今回は選挙を目前にして詳細は議会事務局に委ねる部分が多かったのですが、基本姿勢はそのままです。これからも、より多くの市民に読んでいただける紙面づくりを目指してまいります。



「観光立市横須賀」を推進します

横須賀のまちづくりのひとつとして、観光産業の振興を柱とする「横須賀市観光立市推進条例」を全議員が提出者となり、全会一致で可決しました。本市には豊かな自然と先人たちが残してくれた価値ある歴史や色とりどりの郷土文化があります。それらを磨き、育て、大切に守り、有効に活用しながら、魅力ある観光地をつくり、観光を産業の柱とする「観光立市横須賀」を目指します。この条例の趣旨を具体化していくため市役所では観光担当部が誕生しました。

4月7日には三浦按針ゆかりの4市(横須賀市・臼杵市・伊東市・平戸市)によるANJINサミットが本市で開催されました。今後も横須賀の魅力をもっと多くの人に知っていただくよう発信していきます。

